

帰依住職の

イツペー

チビラーサン

▶ 4

沖繩の年中行事

エイサー

# 優しい気持ちで踊ろう

おぼろこ  
い 大太鼓・小太鼓・手踊りの青年たちが、地域やグラウンドを練り歩かかたたちが一般的にエイサーになっていきます。

エイサーの三線を弾く人はジウテー(地謡)と呼ばれ

ます。ジウテーや、おもしろい動きで盛り上げるチョンダラー(京太郎)は多くの場合、経験豊富な人が担当します。大太鼓・小太鼓・手踊りの青年たちの気持ちに手が取るようにわかり

で踊ると、その優しい気持ちの手先や足先に表れ、とても素晴らしい踊りになります」と教えていただきました。私は現在、沖縄市諸見里青年会のチョンダラーをしています。やはりここでも先輩たちから阿波踊りの心得と同じような話を聞かされます。家族への感謝や私たちのいのちの大切さを知る意味でも、エイサーは素晴らしい伝統文化であると云えるでしょう。イツペー チビラーサン(とても素晴らしいですね)！

ハイサイ！ 今月はみんなの地域でも、たくさんエイサー大会やまつり・フェスティバルが開催されていると思います。沖縄の夏の風物詩であるエイサーは、「エイサー エイサーー」のかけ声から、呼び名がついたとも言われています。

エイサーは、その昔本土からやって来たお坊さんによって伝えられた念仏踊りが、沖縄の文化と交じり合っただけで発展したのではないかと考えている人たちもいます。現在では、美しい三線の音色に合わせ、かっこい



ます。ジウテーやチョンダラーのサポートと踊り手全員がのチームワークがあつてはじめて、あの勇壮で力強いエイサーになるのです。そして、もう一つ大切なことがあります。それは、感謝する優しい気持ちです。私は以前、徳島県の阿波踊り名人位をいただきました。そのときに、「阿波踊りは念仏踊り(盆踊り)です。私を思い出しながら、幸せになってください」という心

学校の運動会でエイサーが踊られるのは、このようなエイサーの魅力をみんなに感じてもらうためでもあるのですね。

(帰依 龍照 球陽寺住職、タイムスカルチャーゼンター「基礎から学ぶ沖縄の年中行事」講師)

の年中行事」講師)